

# 進路通信

令和3年11月9日発行 第5号

青森県立青森中央高等学校

進路指導部



## 受験シーズン到来

11月に入り、大学入学共通テストの志願票の確認はがきが届き、総合型選抜の合格発表が相次いでいます。これからは、学校推薦型選抜の出願時期になります。

また、就職希望者(民間就職15名、公務員希望者10名)も全員1回は受験を終えて、内定をいただいた人や、次の試験の準備をする人など、対応に追われています。

主な進学・就職内定状況(11月2日現在)を右記にまとめました。

### 進学・就職内定状況(11月5日現在)

#### ◎ 主な総合型選抜

青森公立大学経営経済学部経済学科(1)  
青森公立大学経営経済学部地域みらい学科(1)  
青森中央学院大学経営法学部経営法学科(3)  
柴田学園大学生活創生学部こども発達学科(2)  
東北文化学園大学工学部臨床工学科(1)

西武文理大学看護学部看護学科(1)

青森中央短期大学幼児教育学科(9)

青森明の星短期大学子ども福祉未来学科(2)

専門・各種学校(63)

#### ◎ 主な就職先

株式会社 青森銀行(1)

アイペット損害保険株式会社(2)

青森魚類株式会社(2)

株式会社トヨタレンタリース(1)

他、7名内定



### 1・2年次進路ガイダンスの開催

10月21日(木)に1・2年次対象の進路ガイダンスが青森産業会館を会場に開催されました。県内外から合わせて78校の大学・短大・専門学校に参加いただきました。生徒達は1人3回担当者から、学部学科の特徴、教育施設の充実度、資格取得等についての説明を受け、記録用紙にまとめていました。下記の文章は、記録用紙からの抜粋です。

臨床工学技士という専門職を初めて知った。(1年次)



大学について真面目に考えたことはなかったが、面白そうで興味がわいた(1年次)



管理栄養士の仕事は、病院では、1人1人の患者の症状に合わせて食事をつくる(2年次)

大卒と高卒によって得られる賃金の違いや、将来就くことができる仕事の幅が変わってくることがわかった。(1年次)

調理師と製菓衛生師のWライセンスが取得できることを知った(2年次)

大学は、高校と違って、自分で考えて行動しなければならない場面が多いと思った。(2年次)



## 学校推薦型選抜の特徴

### ① 学校推薦型選抜の種類

#### ・指定校推薦

大学が各高校に割り当てた推薦枠を利用する方法で、校長の推薦や、高校での評定平均の基準を満たしていることが必要です。

#### ・公募推薦

指定校制のように人数の枠がなく、誰でも自由に出願できます。ただし、「校長の推薦を受けること」「大学が設定する評定平均の基準値をクリアすること」が求められます。

### ② 選抜方法

#### ・書類選考+面接+小論文が主流

③ 日頃からコツコツ勉強することを心掛けている人は、学校推薦型選抜が向いてます。高1から定期テストで好成績を積み上げることで、入試対策を有利に進めることができます。

④ 評定平均値や、課外活動は、3年次になってからがんばっても遅いです。

⑤ 「推薦書」が活用される。

⑥ 出願時期 11月以降

⑦ 受験時期 11月中旬から下旬

⑧ 合格発表 12月初旬

どんな  
入試

## 進路選択で大切なこと(就職編)

2年次の就職希望者対象に講師として中村成博氏をお招きし、職業講話をおこないました。生徒達の多くは、中村先生の講話を聞いた後に、「自分が思っていた就職に対する考え方方が大きく変わった」と述べていました。



下記に、生徒達の感想を踏まえて、内容をまとめてみました。

「働く」とは、どの道を進んだら、より多くの人を喜ばせることができるかという事

何が一番やりがいがあると感じて、仕事をするかが大切なこと

聞く姿勢を少し変えるだけで、相手に良い印象を与える5つのポイント

- ① 相手の表情に合わせて聴く
- ② 相手の話に相づちを入れる
- ③ 話し手に体と意識を向ける
- ④ メモをとる
- ⑤ 座る姿勢



## 「夢へ向かってGO！！」

10月に入り、「進路ガイダンス」「職業体験型ガイダンス」と、将来の進路について考える行事がありました。1・2年次のみなさん、まだ先の話ではありません。高校卒業後のことをしっかりとと考え、情報を収集し、進路を決めていきましょう。その際、社会人の先輩でもある、家族・先生方などにも相談しながら、アドバイスをもらいましょう。目標が定まれば、今やらなければならないことが見えてきます。あとは夢を達成するために努力するだけです。

(進路指導部員 工藤 芳子)

